雪氷研究大会（2009・札幌）講演要旨集フォーマット
−副題はここに−

Format for Summary of JSSI & JSSE Joint Conference on Snow and Ice Research ― 2009/Sapporo
− Sub title here −

○雪氷太郎[*1]，雪工次郎[*2]
Hyotaro Yuki, Kojiro Yuki

1. はじめに

この文書は 2009 年 9 月に札幌で開催される雪氷研究大会（2009・札幌）で用いられる統一講演要旨集のフォーマットに従って書かれています。縮小はせず，A4 判で印刷製本します。

2. 原稿執筆要領

2.1　内容

講演要旨原稿には，研究の目的，手法，結果を明確にわかり易く記述するように心掛けて下さい。記述が不十分なものは掲載を認めない場合があります。学術誌としての品位を保つため，表題，本文，図表，写真などにおいて特定の企業などの宣伝行為と見なされることのないよう，表現に注意して下さい。

2.2　ページ数

原稿は 1 ページとし，余白を残さないように体裁良くまとめて下さい。1 ページにまとめきれない成果については，各学会誌に論文として投稿下さるようお願い致します。

2.3　用紙

A4 判用紙を縦長に使用して下さい。専用の原稿用紙は用意しておりませんが，MS-Word のひな形は用意してあります。各学会のサイトからダウンロードしてご利用下さい。

2.4　原稿の作成および書式

原稿の余白は，天：22mm, 地：25mm, 左右：12mm, ヘッダー：12mm, フッター：15mm とし，本文は 2 段組で作成して下さい。段間のマージンは 2 文字分とします。使用するフォントは表題や見出しは MS ゴシックや Ariel などのゴシック系を，本文その他には MS 明朝や Times New Roman などの明朝系を使用して下さい。特殊なフォントは印刷所で対応できないことがありますので，できるだけ避けていただき，どうしても必要な場合は PDF 作成の際に埋め込むようにしてください。文字の大きさは，表題に対しては 10 ポイント，発表者氏名と本文に対しては 8.5 ポイントを使用して下さい。いずれの場合も行間は 14 ポイントとします。この場合，1 行の文字数は 30 文字，1 段の行数は 50 行となります。図中の説明等は必要に応じてこれらより小さな文字を使用しても構いませんが，5 ポイント未満の文字は避けるようにして下さい。ヘッダーには明朝系フォントを利用し「雪氷研究大会（2009･札幌）2009.9.29-10.3［改行］JSSI & JSSE Joint Conference – 2009/Sapporo」と記述します。ヘッダー・フッター内の改行幅は 10 ポイントとします。フッターの 1 行目には本文と区別するための横棒を引き，次の行から所属を，和文を左側に，英文を右側に並べて書きます。所属先が 1 ヶ所なら本文の行数に変更ありませんが，2 ヶ所以上の場合は必要なだけフッター部を拡張し本文のマージンを削ってください。フッターの右下には著作権表示があります。発表者が著作権を移譲する学会名が表示されていることをご確認いただき，違っている場合は該当する学会ホームページよりひな形をダウンロードし，この部分には手を触れないでください。

2.5　論文の表題

論文の表題は 10 ポイントのゴシック系のフォントを使用し，原稿左段 1 行目に書きます。副題が必要ならば 2 行目に記述して下さい。副題の文字の大きさは 8.5 ポイントとします。3 行目には 10 ポイントのフォントを用いて英文題目を書き，必要に応じて副題を 4 行目に書きます。大きさは日本語表題と同様とします。英文題目はプログラムにも使用しますので，必ず記述して下さい。

2.6　発表者氏名

和文著者名には明朝体系フォントを使用し，5 行目に右寄せで書き，連名の場合は発表者氏名の前に○印を付けて下さい。また，各々の右肩に*1,*2 のように注釈をつけ，フッターに，本文との間に罫線を引いたうえで所属を明記して下さい。発表者各々の英文氏名を 6 行目に右寄せで記述して下さい。

2.7　見出しと本文

大見出しは行頭から『１．はじめに』のように書き，小見出しは『1.1　小見出し』などとして下さい。大見出しにはゴシック系，小見出しと本文には明朝系のフォントを使用し，行間は 14 ポイントにして下さい。

2.8　図・表・写真

図表および写真は本文に出てくる順番に合わせ，それぞれに図 1 や写真 1 などと番号をつけてレイアウトし，図および写真の場合はそれらの番号とタイトルを図・写真の下，表の場合は表の上に明記して下さい。図表および写真は自己のオリジナルなものに限り，そのコピーを使用する場合も鮮明なものに限ります。

2.9　参考文献

参考文献には引用順に番号を付け，本文の末尾に記述します。著者名（発行年）：文献名，雑誌名，発行元，Vol., No., 開始ページ-終了ページ．の順に記述して下さい。

3. 投稿要領

講演要旨原稿の投稿は J-STAGE を利用した電子投稿となります。詳しくは別途投稿要領を参照してください。

4. 別刷り

J-STAGE から PDF をダウンロードしてお使い下さい。紙の別刷り印刷には事務局では対応いたしません。

参考文献

1) 日本雪工学会学術委員会（2007）：第 24 回日本雪工学会大会発表論文募集―付・原稿執筆要領―，日本雪工学会誌 Vol.23, No.1, pp.103-104.

表 1　使用するフォントとサイズ一覧

項　目	使用するフォント	大きさ	改行幅
タイトル	MS-P ゴシック, Arial	10 pt.	14 pt.
サブタイトル		8.5 pt.	14 pt.
大見出し		8.5 pt.	14 pt.
著者名	MS 明朝 Times New Roman	8.5 pt.	14 pt.
小見出し		8.5 pt.	14 pt.
本文		8.5 pt.	14 pt.
図表のタイトル		8.5 pt.	10 pt.
ヘッダー，フッター		8.5 pt.	10 pt.

*1　雪氷大学大学院工学研究科　大学院生　　Graduate Student, Graduate School of Engineering, Seppyo University
*2　雪氷大学大学院工学研究科　教授・工博　　Professor, Graduate School of Engineering, Seppyo University, Dr.Eng.

©2009 日本雪工学会